



平成 22 年 7 月
 = 発行 =
 秋田県生涯学習センター
 〒010-0955 秋田市山王中島町 1 - 1
 TEL : 018 - 865 - 1171
 FAX : 018 - 824 - 1799
 E-mail : sgcen002@mail2.pref.akita.jp
 編集担当 : 社会教育アドバイザー

稲田の緑が一段と色濃くなり、本格的な夏到来と思ったら、いきなりの猛暑です。今年、畑に蒔いたダイズを山鳩がきれいに食べ尽くし、その徹底ぶりに感心させられました。山鳩も大した知恵者です。天候の異変が様々な影響を呼び、秋田県産の農作物に悪影響を与えるのではないかと心配になります。

『あきた県政概況 2010』の中に、「新秋田県観光振興プラン策定！～こころとカラダに効く観光を育てます～」という見出しを見付けました。「県民一人一人が“おもてなしのこころ”で、旅行者はもちろん、県民の『こころとカラダに効く観光』を育て、地域社会・経済の活力の創出を図ります」と文は結ばれていました。

県民の一人一人が“その気”になって、“おもてなしのこころ”を示し、観光秋田を盛り立てていきたいものです。県内の美しいもの、楽しいこと、おいしいものに触れる旅に出かけ、知識を豊かにして秋田県の宣伝マンになりたいものです。



小さいころの教育がとっても大事！

最近、幼児期の教育の重要性が過去の時代よりも強く語られるようになってきました。子どもたちが育つ環境が急激に変化し、人とのかかわりやコミュニケーションの不足、体験不足などが心配されるようになりました。

教育基本法、保育所保育指針、幼稚園教育要領などに、子育てにかかわることが述べられております。普段目にすることがない文章ですが、子育ての参考にしていただければと思います、次に紹介いたします。

＜家庭教育（教育基本法）より抜粋＞

第10条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

＜保育所保育指針（厚生労働省告示）より抜粋＞

- ・人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして、人権を大切にすることを育てるとともに、**自主、自立及び強調の態度**を養い、**道徳性**の芽生えを培うこと。
- ・**生命、自然及び社会の事象**についての**興味や関心**を育て、それらに対する**豊かな心情や思考力**の芽生えを培うこと。
- ・生活の中で、**言葉への興味や関心**を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、**言葉の豊かさ**を養うこと。
- ・**様々な体験**を通して、**豊かな感性や表現力**を育み、**創造性**の芽生えを培うこと。

＜幼稚園教育要領（文部科学省告示）より抜粋＞

- ・幼児期における教育は、**生涯にわたる人格形成の基礎**を培う重要なものである。
- ・幼児は安定した情緒の下で**自己を十分に発揮することにより発達に必要な体験**を得ていくことを考慮して、幼児の主体的な活動を促し**幼児期にふさわしい生活**が展開されるようにすること。
- ・**幼児の自発的な活動としての遊び**は、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、**遊びを通して**ねらいが総合的に達成されるようにすること。

水切りの七八九十系とんぼ
 スカートに装う母の夏料理
 黒麦酒妖しき苦み樂しめり

武藤 四郎 作



平成 22 年度生涯学習・社会教育関係者実践講座
すぐに役立つ！社会教育計画の極意

平成 22 年 6 月 24 日～ 25 日
 会場 秋田県生涯学習センター



【大滝 朗氏の講義】



【原 義彦氏講義】



6 月 24 日～ 25 日の二日間、「すぐに役立つ！社会教育計画の極意」というテーマで、生涯学習・社会教育関係者実践講座が開催されました。

この講座では、「豊かな心と文化を育む由利本荘市の社会教育計画」と題した、由利本荘市生涯学習課の大滝朗課長の講義と「社会教育計画の策定と評価」と題した、秋田大学教育文化学部准教授、原義彦氏の講話がありました。その後、グループに分かれ、「高齢者教育の充実」のための計画立案の演習を行いました。事業案作成段階で、目標・内容・評価を体系化し、一連の筋の通った事業の展開が重要であることを学びました。



～ つぶやき ～

「こんな活動を取り入れよう。」
 「評価はこれでいいかな？」
 「総合的に判断しよう！」
 「演習しながら情報交換ができた気分だ。」
 「アイデア満杯だね。」
 「何日も残業して作成をしているが、参考になった。」

秋田県児童会館 「パパとあそぼう」
 毎週日曜日 11:00～

7 月 4 日は、午前中「パパとあそぼう」で、ストローと紙の輪で飛行機を作りました。母親や祖父母と一緒にの子もいましたが、父親と一緒にの子も多く、楽しく活動をしていました。



午後は、「ワクワク工作」で七夕飾りを作りました。



しっかり向き合って、子育て効果抜群！

児童会館の「パパとあそぼう」に参加した親子は、心と心がしっかり向き合っていました。子供たちの表情が穏やかで満足そうに見えました。

子どものころに安心感や満足感を得ることは、大切なことで子どもたちに自信と意欲を抱かせてくれます。

児童館や公民館、自然体験施設、男女共同参画センターなどでは、多彩に子ども向けや親子向け、親向けの講座や行事が開催されています。子育て仲間と語り合えることも、貴重な体験です。子育ての苦勞が楽しみに変わるかもしれません。

また、困ったときは一人で悩まずに相談することも大切です。大切なわが子は、社会の宝物でもあります。

育児休暇をとるお父さん、親父の会などで頑張っている方々に、エールを送りたいと思います。いたわり合い励まし合い協力し合う社会を築いて、子どもたちに引き継ぎたいものです。